

実証成果 (株)ベジ・ドリーム栗原、(株)デ・リーフデ北上ほか(宮城県栗原市、石巻市)

実証課題名

パプリカスマート商流実現と他社間連携による安定出荷体制の構築

経営概要

(株)ベジ・ドリーム栗原 6.0ha(パプリカ6.0ha)うち実証面積 パプリカ6.0ha
 (株)デ・リーフデ北上 2.4ha(トマト1.1ha、パプリカ1.3ha)うち実証面積
 パプリカ1.3ha
 (株)デ・リーフデ大川 2.1ha(トマト1.26ha、パプリカ0.88ha)うち実証面積
 パプリカ0.88ha

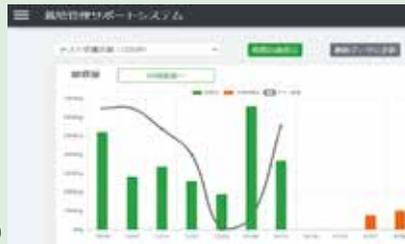


導入技術

①パプリカ出荷量予測台車 ②栽培管理サポートシステム ③生販連携管理システム ④データ統合プラットフォーム



①



②④



③

目標

- パプリカの販売平均単価を5%向上させる。
- パプリカ安定生産・出荷に寄与する栽培管理サポートシステムとデータ統合プラットフォームを実装する。

1 目標に対する達成状況

- 他社間連携による協調出荷先が4社増加した。パプリカ個包装機械導入により、個包装出荷割合も前年比5%増加した。また、各社共通個包装パッケージによる出荷によって、認知度と宮城県産ブランド力の向上を図り、販売平均単価が前年比10%向上した。
- 栽培管理サポートシステムとデータ統合プラットフォームの開発・導入により、パプリカの安定生産及び他社間での協調出荷を支援した。システムのアンケート評価結果は3.75(1非常に悪い~5非常に良い)であった。

2 導入技術の効果

パプリカ短期収量予測

- パプリカ出荷量予測台車FARBOTで、パプリカ果実数(黄)をAIカウントした。そのカウント数を基にした収量予測値と選果データの収量実績値(カウント日から1週間)を比較した結果、予測精度は97.4%(誤差2.6%)であった。



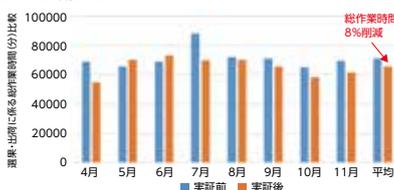
栽培管理サポートシステム

- 草勢評価、収量予測等の機能を備えた栽培管理サポートシステムと1週間単位以上の暖房使用量を高い精度(相関係数:0.965)で予測できる暖房負荷試算アプリを開発。他社間で栽培情報の共有ができ、コスト面も踏まえて安定した栽培管理に寄与。



選果・出荷の作業時間減少

- 生販連携管理システムの導入により、選果・出荷にかかる総作業時間が前年比8%減少した。



協調出荷による安定出荷

- データ統合プラットフォームの協調出荷支援システムにより、協調出荷における他社間での出荷量調整を支援。他社間連携による協調販売先は4社増加した。パプリカ個包装機械導入により、個包装出荷割合も前年比5%増加した。また、各社共通個包装パッケージ出荷によって、認知度と宮城県産ブランド力の向上を図り、販売平均単価が前年比10%向上した。



3 事業終了後の普及のための取組

- 本事業の成果パンフレットを、実証経営体への視察者や県主催のイベント参加者に配布し、実証成果を広く周知する。
- 県庁や普及センターの行政機関が、県主催の研修会等で実証成果の情報提供を行う。

問い合わせ先

宮城県農政部園芸推進課 (e-mail: engei-senshin@pref.miyagi.lg.jp)